

小さな改善が人、職場を、組織を変える

VOL.4



カイゼン通心



早いものでもう12月。冬の足音が聞こえはじめ、寒さが身に染みるようになってきました。

クリスマスに御用納め、お正月とワクワクするイベントが続きますが、その前に今年の総決算として身の回りを振り返り、出来ることからカイゼンしていきましょう！

引き続き報告いただいたカイゼン事例を紹介します。

1番報告件数が多かった職場カイゼンの中から、整理整頓の実施によりきれいに収納できるスペースを確保した事例の紹介です。

報告事例 3

整理整頓でヘルメットの収納スペースを確保！

(報告課：クリーンセンター)

BEFORE～改善前～



クリーンセンター内の非常口付近に耐用期間（3年以内）が過ぎた作業用ヘルメットが大量に置かれていた。収納スペースの容量をオーバーし、新たな作業ヘルメットの収納に支障をきたしているばかりか、このままでは非常口の通行にも支障が出てしまう状況であった。

AFTER～改善後～

大量に置かれていた古いヘルメットを廃棄し、必要最小限で機能的に収納できるように整理整頓を行った。

それにより、作業時の時間的な口スを減らすとともに、非常口の適正なスペースを確保することが出来た！



カイゼンの小・ネ・タ

“もったいない精神”と“断捨離”

“もったいない”という言葉は仏教用語から転じ、無駄になっているものを嘆く気持ちで古くから日本で使われています。ワンガリ・マータイ氏が紹介し世界的にも有名になりました。一方の“断捨離”はヨーガの行法である断行、捨行、離行を応用し、断：不要なものを断つ、捨：ずっとあるものを捨てる、離：物への執着から離れることを励行し、不要なものを減らし重荷を解き放ち、生活の調和を図ろうとする思想です。

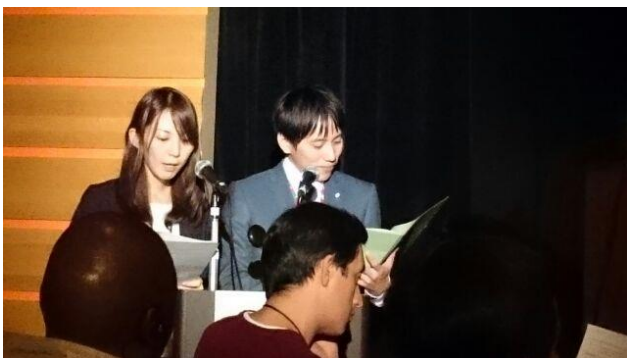
もったいない精神は日本人的美徳ですが、行き過ぎると物が捨てられなくなります。カイゼンを進める際は4Sを実施し、“断捨離”していきましょう。

★★さいたま市の「カイゼンさいたまマッチ」 を視察してきました！★★

去る11月16日にさいたま市で開催された「カイゼンさいたまマッチ」を視察してきました！

「カイゼンさいたまマッチ」とは、業務改善強化月間に職員一人ひとりがカイゼンに取組み、実践されたカイゼン取組みの中から優秀事例を選び発表を行うことで、取組みの効果や実践に至るプロセスなどを全庁で共有し、職員の改善の意識を高めるとともに、改善に取り組む職場風土を醸成しようとする取組みです。

カイゼンさいたまマッチの開催に当たっては、庁内公募で結成された「カイゼンサポーター」を抜きには語れません。様々なパンフレットや動画の作成、当日のシナリオから会場設営、司会進行、集計まで担います。



(カイゼンサポーターによる司会)



(発表の様子)

(発表事例①)

子どもの笑顔を守るんだ！～ヒヤリを活かした安全保育～

園の地図を作成し、ケガが発生した場所に月ごとに色の違うシールを貼るとともに、ヒヤリとした場面の報告書を作成することとした事例。色違いのシールを活用することで、月ごとのケガ等の発生状況や危険な場所を一目瞭然でわかるようにした点に工夫を感じました。

(発表事例②)・最優秀賞

未来へつなぐ防さい楽習

防災訓練のターゲットを幼児に変更し、頭と体を使って楽しんで覚えられる「防さい楽習」を実施した事例。炎のシールを背中に貼り、転がって火を消す動作を体操として行うなど、子どもたちが楽しく学べる工夫が随所に見られました。また、保育士が覚えることで、日常的に実施できる点も素晴らしいと感じました。

合計6つの事例発表がありましたが、ホワイトボードを活用したものなどすぐにマネできる事例がたくさんありました。また、何より発表される方がとても楽しそうなのが印象的でした。

詳しく知りたい方はさいたま市ホームページ(下記リンク)をご覧ください。
http://www.city.saitama.jp/006/007/014/007/p050857_d/fil/Overview.pdf